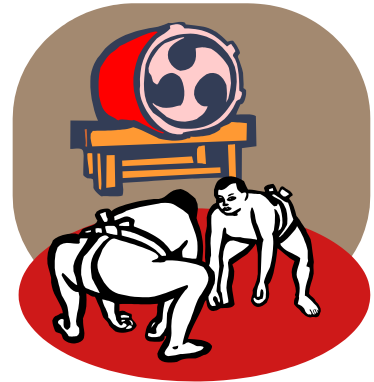


【やんちゃ力士の魅力】

大相撲初場所は朝青龍の活躍で盛り上がりました。決定戦で白鵬を破り、23度目の優勝は見事です。場所前の横綱審議委員会のけいこ総見では、白鵬に歯がたたず1勝6敗でした。この調子では復帰は無理、引退かと思った人も多かったのではないのでしょうか。

しかし私はTVであの稽古の様子を見て、感心してしまった一人です。横綱として4年以上も先輩で、優勝22回の大横綱です。それが負けても負けてももう一番と、5歳下の後輩にぶつかっていきました。しかも審議委員会のお歴々の前です。私だったらみっともない姿をさらすなど、プライドが許しません。2回も負けたらどうも今日は体調がよくないと、稽古をやめていたでしょう。



6回負けても、なお向かっていった朝青龍に、強さを取り戻したいという激しい力士根性を見ました。そしてその執念は、優勝決定戦前のTVに写った彼の動作にも現れていました。支度部屋に戻るなり、付け人相手にぶつかり稽古を繰り返しました。柱に向かって鉄砲を繰り返しました。そして髪をさっと整えて、土俵に向かいました。

結びの一番では白鵬に簡単に寄り倒されてしまったのです。場所前の稽古総見の場面が浮かびました。矢張りこれが両者の力の差かなと思いました。しかし何くそという彼の根性が、あのような支度部屋での激しい準備調整となり、決定戦に心・気・力の全てを集中させて臨んだのでしょう。白鵬はそれとは全く対照的でした。腕を組み、じーっと目を閉じて出番を待つ白鵬の姿を見ていて、これでいいのだろうか、一抹の不安がよぎりました。未だ23歳なのです。

果たしてそうでした。朝青龍は打って変った鋭い立会いで白鵬の右脇に左を差込、相手の右を殺し、頭を胸につけて腰の重い相手を一気に寄り切ってしまったのです。まさに支度部屋で繰り返した動作通りの相撲でした。乱れてぼさぼさになった前髪に、頭にも渾身の力を込めて押し込んで戦った男の姿が現れていました。

土俵の上で思わずガッツポーズをとり、横綱の品格を問われて嚴重注意を受けました。しかし横綱審議委員会のお歴々の目には、場所前のあの赤青龍の稽古姿がどう映ったのでしょうか。惨めな姿を人前にさらして、横綱の品格にかかわると苦々しく写っていたのでしょうか。

日本人の心には独特な美意識があります。内面の完成された美しさを、泰然自若とした姿や隙の無い静かな立ち居振る舞いに見ようとしています。そして白鵬はそのような横綱を目指して、形を整えようとしているようです。「安定感がまわしをしめたよう」という批評がありました。周囲が無理に日本的美意識を押し付けている気がします。モンゴルからの留学生によると、白鵬はモンゴル人ではなくなってしまったと見られているそうです。



表彰式で総理大臣杯を渡しながら、麻生さんが「やっぱり横綱は強くなっちゃ」と語りかけていました。そうですね。横綱に求められる第一は最高位者としての強い相撲です。それから地位に相応しい品格をとなるでしょう。先ず彼の力士根性を、全力士のお手本として、もっと高く評価すべきです。行儀が悪いと叩かれてもへこたれずに、自分流を貫いて勝負に集中していく根性に、もっと温かい声援をおくるべきです。謙虚さは、横綱朝青龍本人の課題でしょう。

教育の目標は、子どもたちをお利口さんの優等生にすることではなく、活力の溢れた个性的人物に育てることだとよくいわれています。でも新聞にのる言葉を読む限りでは、個性派は悪役に仕立てられて、優等生を引き立てる脇役扱いのような印象を受けます。日本人力士の中に強い横綱候補が見られないのも、他人の批評を気にして、形を整えようとする日本のお利口さん教育の結果ではないかなと思えてきます。

私の孫の一人、小学5年生が、「将来は？」と聞かれて「お祖父ちゃんもお父さんも牧師だから、僕も牧師にならなくっちゃいけないんだ」と答えたそうです。「そんなに無理しなくても、君は君でいいんだよ。」「そうか。それなら僕、野球の選手になる！」それを聞かされて思わず笑ってしまいました。矢張り牧師の家庭には牧師の家庭の雰囲気漂っていて、子どもたちのプレッシャーになっているのですね。

日本には日本独特の伝統的価値観があります。それが日本の文化を生み出していきます。私はシンガポールでも日本人小学校で日本人仲間と剣道の稽古をしていましたら、シンガポール人が増えてきて、大学、高専にも剣道部が生まれました。

赤道直下の熱帯で、防具をつけての汗だくの稽古などに、どうして惹かれるのでしょうか。日本人の心、日本の文化にふれたいと学生たちが言いました。剣道が育ててきた礼儀正しい所作や正しい打ち込みの美しさに惹かれるのです。しかし何よりもまず、内に秘めた激しい気概が大切。それを包んだ静の美しさが日本の美なのですから。

主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。 (聖書)